

## 東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2020/7/28

■ID: A19137

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>

■派遣先大学/Host university: ローマ大学ラ・サピエンツァ

■留学期間/Program period: 2/1/2020 ~ 7/31/2020 (MM/DD/YYYY)

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 総合文化研究科地域文化研究専攻

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 博士3年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad?:

博士課程で一度は資料調査を兼ねた留学をしたいと考えていたものの、資金調達等に難航し、結果として学振取得後の2月に決定した。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program:

2020年/Academic year / 博士3年/University year / A2学期まで履修/Completed semester

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program:

研究指導の委託

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN:

2020年/Academic year / 博士4年/University year / A1学期から履修開始/Semester

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad:

博士課程在学期間中に研究に必要な資料の収集を続けていたが、イタリアでの現地調査を一度行う必要があると考えていたため。また、2020年上旬はローマ-東京飛行100周年であり、研究者や関係者との交流もより容易になると考えていたため。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned:

Lingua italiana per studenti stranieri - B2 /3

■留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad:

オンライン授業がメインだったが、結果として東大の講義や日本で開催されていた研究会にも参加することができた。研究活動にも大きな制限があり、基本的にはデジタルアーカイブを使っていたために日本にいた頃と殆ど研究手法は変化しなかった。むしろ日本に置いてきた資料が多く、体系的に情報を整理することに支障があった。一度報告の機会があり、オンラインで録音まで行ったが、公開時期を知らされていない。

■留学先での1学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits

earned per semester :
1~3 科目/Subjects / 1~10 単位/credits
■1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week :
21 時間以上 時間/hours
■学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research :
取り組んでいない
■学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose、 or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :
取り組めるような状況ではなかった。
■週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations? :
基本的には在宅。2 月にはローマの博物館に足を運び、移動宣言解除ののち 7 月には一度だけフィレンツェで美術館等を巡った。

#### 派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

■設備/Facilities :
学部の図書館のみならず、研究科が所有する図書館もあり、蔵書は豊富。メニューの多い食堂もあり、Wifi 設備も申し分なかった。ただし 3 月以降は施設はすべて閉鎖され、再開した図書館も要予約、大学構内に入る際にも事前に申請フォームをオンラインで記入する必要があった。
■サポート体制/Support for students :
3 月以降派遣先大学の国際交流課の事務室が閉鎖され、メールでの対応のみとなっていた。利用しなかったため詳細は不明。

#### プログラム期間中の生活について/About life during the program

■宿泊先の種類/Type of accommodation :
アパートなどの賃貸
■宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :
ローマ大学が協定を組んでいるレジデンスの一覧があり、その中から選出した。部屋のタイプは何種類もあったが、トイレはプライベートであり、キッチンのみ二部屋の住人が共有する形態の部屋を選択。暖房のみ・冷蔵庫共用。

■気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate、 environment around the institution、 transportation、 food、 etc. :
夏のローマは非常に暑く、冷房がないと熱中症になる可能性も高い。2 月中はメインでないキャンパスのほうに通学していたが、周辺には鳩が多く気管にやや悪かった。構内は清潔。メインキャンパスのほうも、学期が始まる前のみ訪れたため、人は少なかった。3 月以降の状況は不明。私鉄やメトロなどの交通機関は、ロックダウン中もおそらく本数を減らして運行していた。食事については、基本的にスーパーや小型商店で買って来たものを食していた。キッチンを共有していたもう一部屋の使い方が余りに酷く、食器をシンクに溜める上に洗う際には水が飛び散り、その上を靴で歩くために床が真っ黒になっており、見るだけで調理をしようと思う気が失せてしまった。結果としてそちらが退居する 7 月上旬まで、お湯をケトルで沸かす以外の調理は行わなかった。

■お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :

クレジットカードのほか、海外でも使用可能なプリペイドカードを契約し、日本から毎月 10 万円を自身の口座から振り替えて送金してもらっていた。

■治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management, local health care system, and any actions taken to maintain your health :

ローマの治安は全体的にあまり良くないが、日中では特に悪質な土産物屋、夜間は通りに屯する怪しい集団や薬物売買などに警戒する必要がある。特に 3 月以降、医療関係は混乱が発生しており、診察を受けていないこともあり平常時の状況は不明。COVID-19 の感染拡大により、心身の健康管理の更に前段階、「知らない土地でとりあえず食いつなぎ生き残る」というほうに意識が向いていた。特段の用事なく外に出ることも禁じられる時期が続き、結果として食が細りあまり良くない痩せ方をした。特に初期の混乱は深刻で、軍を動員しての配給制となるなどのデマも飛び交ったので、国家規模で予想だにしない事態が発生した場合は、状況が見えてくるまで公式発表以外に対しては常に判断を留保し、必要以上に動き回ることとは避けたほうがよい。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution :

必要書類: 語学証明・履修予定表・Curriculum Vitae・協定校の合意書オンラインでの提出に際し、派遣責任者として国際交流課と教員一名の名前を記入する必要がある。後者については留学担当の教員がいるかどうか、各機関を回って確認したものの、結果として指導教員でよいということが判明した。

■ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

在日本イタリア大使館で交換留学用ビザを取得。重大な書類不備がなければ基本的にビザが下りるため、取得難易度は国費留学の次に容易と言われている。事前のオンライン予約が必須だが、ビザ窓口の開室時間は非常に短く、12 月 17 日に予約しようと手続きをしたら、翌日以外年末まで全日満員という状態だった。

■医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

持病のための頭痛薬・かぜ薬・花粉症の症状を抑える薬(全て市販)。イタリアでは花粉症は発症せず、念のためマスクをつけていたら 2 月の時点では変な目で見られた。

■保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

付帯海学のみ。手続きの際に多少連絡の行き違いはあったものの、留学準備全体に支障をきたすものではなかった。

■東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

指導教員との相談及び教務課での手続き。学振 DC2 の期間中であつたため、国外での長期間の研究活動については教務課を通して学振側の認可を受ける必要がある。そのために必要な書類は、月 1 回、研究科で行われる会議の 3 週間前までに提出する必要がある。

■語学関係の準備/Language preparation :

イタリア語 B2 程度の語学レベルであつたため、留学直前にイタリア語をさらに鍛える機会を欲していたが、丁度集中講義のためにローマ大学の教員が来日していたため、そこで情報交換も行うことができた。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■参加するために要した費用/Expenses of participation :

航空費/Airfare	120,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition、 facilities fee、 etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	30,000 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	46,000 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	0 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	
書籍代には資料調査の結果購入したものを含む	

■留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :	
家賃/Rent	72,000 円/JPY
食費/Food	30,000 円/JPY
交通費/Transportation	5,000 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	5,000 円/JPY
■その他、補足等/Additional comments :	
娯楽費には現地で契約した兄弟電話の料金を含む	

■留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :	
受給しなかった	
■奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :	
■受給金額(月額)/Monthly stipend :	
円	
■受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :	
■奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :	

#### 今後の予定について/About your future plans

■留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定のもの)/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo :	
研究指導委託のため単位認定不可	
■留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad :	
22 単位/credit(s)	
■留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo :	
0 単位/credit(s)	
■これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return :	

2 単位/credit(s)
■卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation :
2022 年 3 月

留学を振り返って/Reflection

■留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts :
各機関との合議の結果、再開を期して残留するという自身の判断を尊重してもらえたものの、それでも留学中に国によって私権を制限されたことに対する不満はある。とはいえ、そうそう経験することができない体験でもあるので、今後の自身の施行に影響を与えることは間違いない。
■今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :
当初より、研究職を獲得できた場合でもそうでない場合でも日本に居住することを希望しているため、イタリア留学自体がキャリアに対する考え方に変化を与えることはなかった。
■留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting :
西洋史関係で研究職のポストを得る際、留学はほぼ必須の条件であり、その点ではメリットがある。しかしこの時期の留学がどう解釈されるかは不明。
■留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad :
学会・セミナーに参加した
■進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :
研究職 大学教員
■今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :
現在の COVID-19 をめぐる事態が落ち着いた後は、多少早計と感じた場合でも早めに留学されることをお勧めします。
■準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :
大使館 HP、イタリア政府 HP、Corriere della sera や La Repubblica 等の日刊紙